

第2章 将来見通し

2-1 将来人口の見通し

2-1-1 国立社会保障・人口問題研究所による推計値

国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」では、本町の人口は令和22（2040）年に、約10,000人まで減少すると推計されています。

図表 総人口と年齢3区分別人口の将来見通し

	年少人口		生産年齢人口		老年人口		総人口 (人)
	人数(人)	構成比	人数(人)	構成比	人数(人)	構成比	
平成27年(2015)	1,689	9.7%	9,546	54.8%	6,198	35.6%	17,433
令和2年(2020)	1,449	9.0%	8,081	50.2%	6,583	40.9%	16,113
令和7年(2025)	1,234	8.4%	6,874	46.6%	6,656	45.1%	14,764
令和12年(2030)	1,056	7.9%	5,859	43.7%	6,489	48.4%	13,404
令和17年(2035)	895	7.4%	5,033	41.8%	6,124	50.8%	12,052
令和22年(2040)	753	7.0%	4,209	39.4%	5,719	53.5%	10,681
令和27年(2045)	617	6.6%	3,540	38.0%	5,147	55.3%	9,304



資料：日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）

※平成27年人口は、国勢調査の参考表として公表されている「年齢・国籍不詳をあん分した人口」を用いている。

※年齢別の構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計値が100%とならない箇所がある。

2-1-2 「五戸町人口ビジョン」による人口の将来展望

「五戸町人口ビジョン（令和2年3月）」において、令和42年（2060年）に約10,000人を目指すと設定しており、その過程となる令和22（2040）年では約12,700人を維持することを目指すとしています。

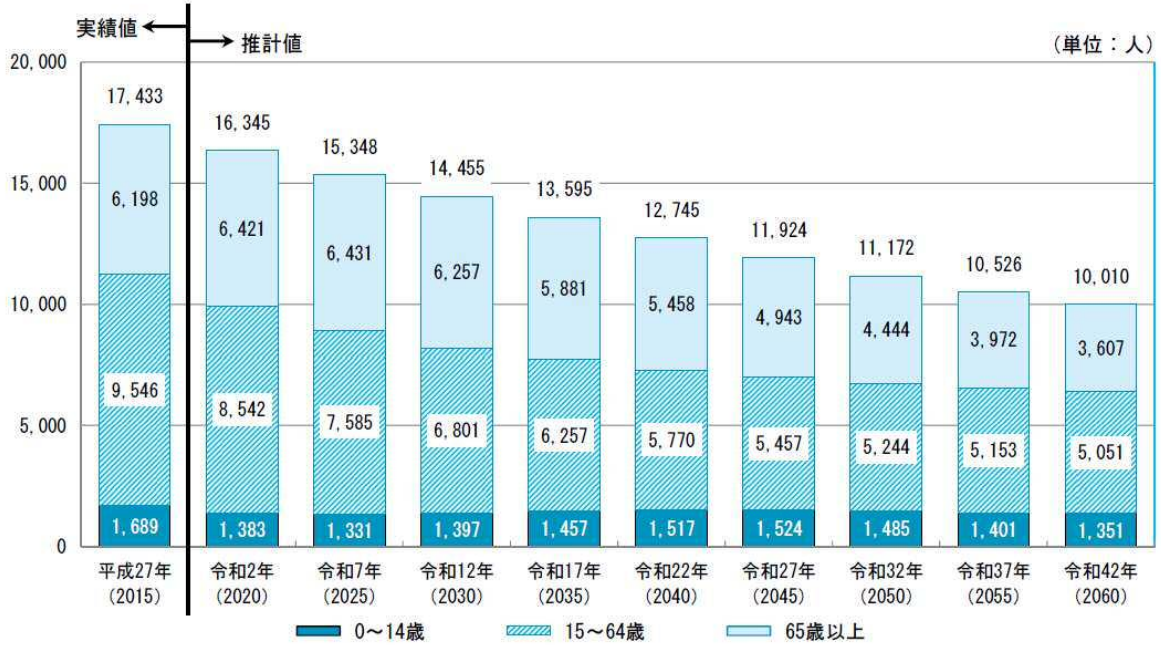


図 「五戸町人口ビジョン」における人口の将来展望

2-1-3 地域別の将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」推計結果を基に、地域の人口動向を視覚的に展開します。

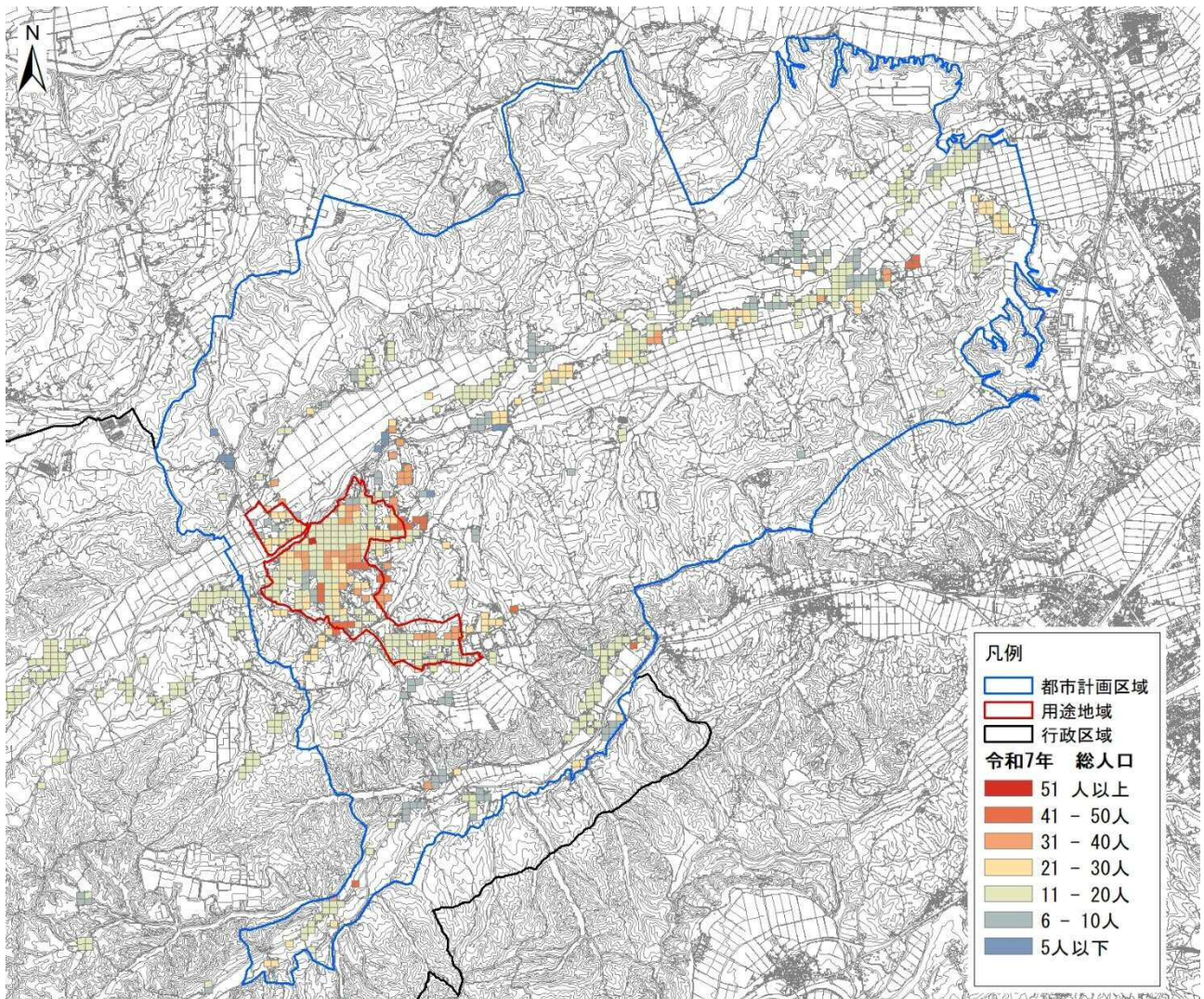


図 地区別将来人口（令和7年（2025年））

資料：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」より作成

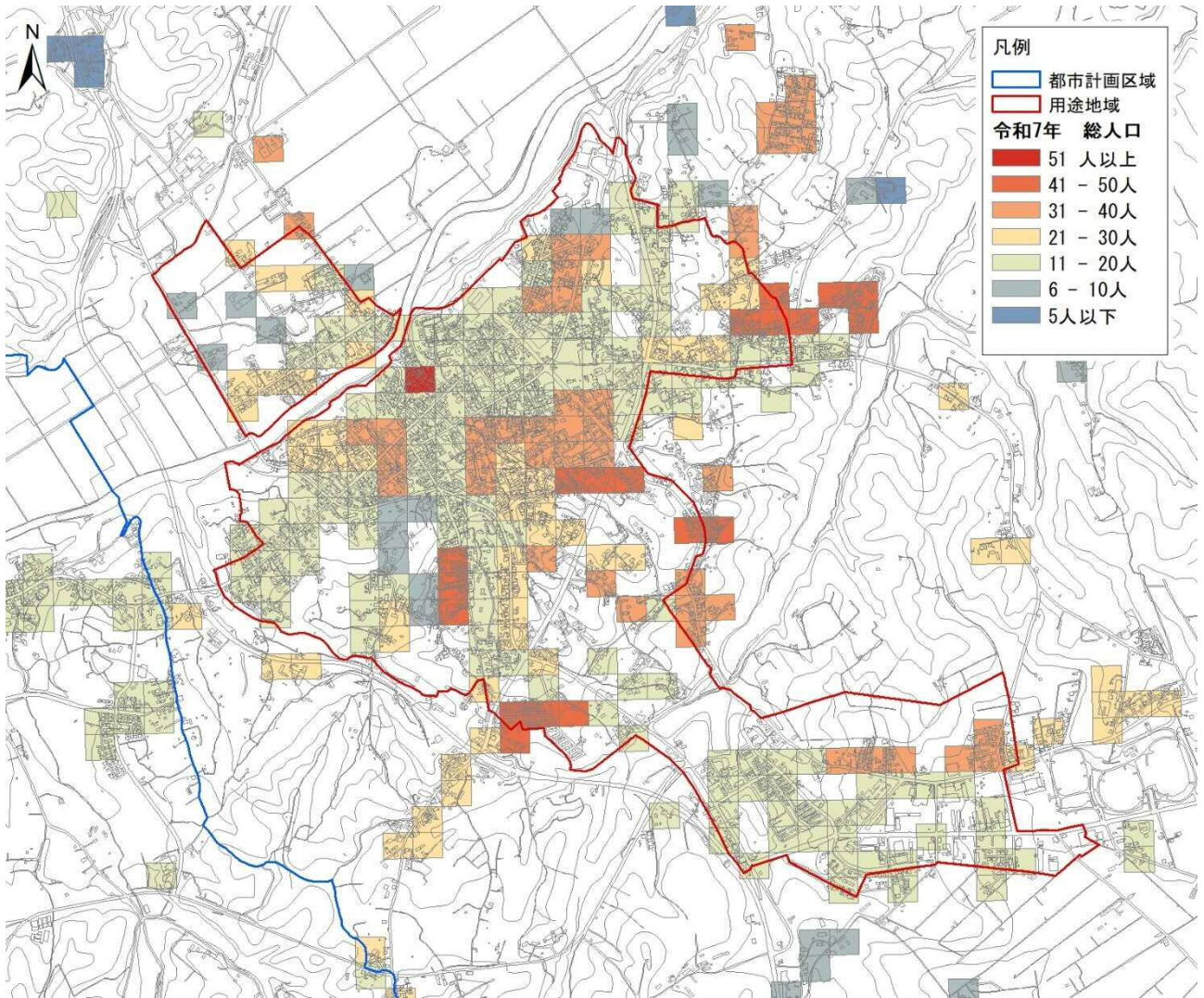


図 地区別将来人口（令和7年（2025年）、用途地域周辺）

資料：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」より作成

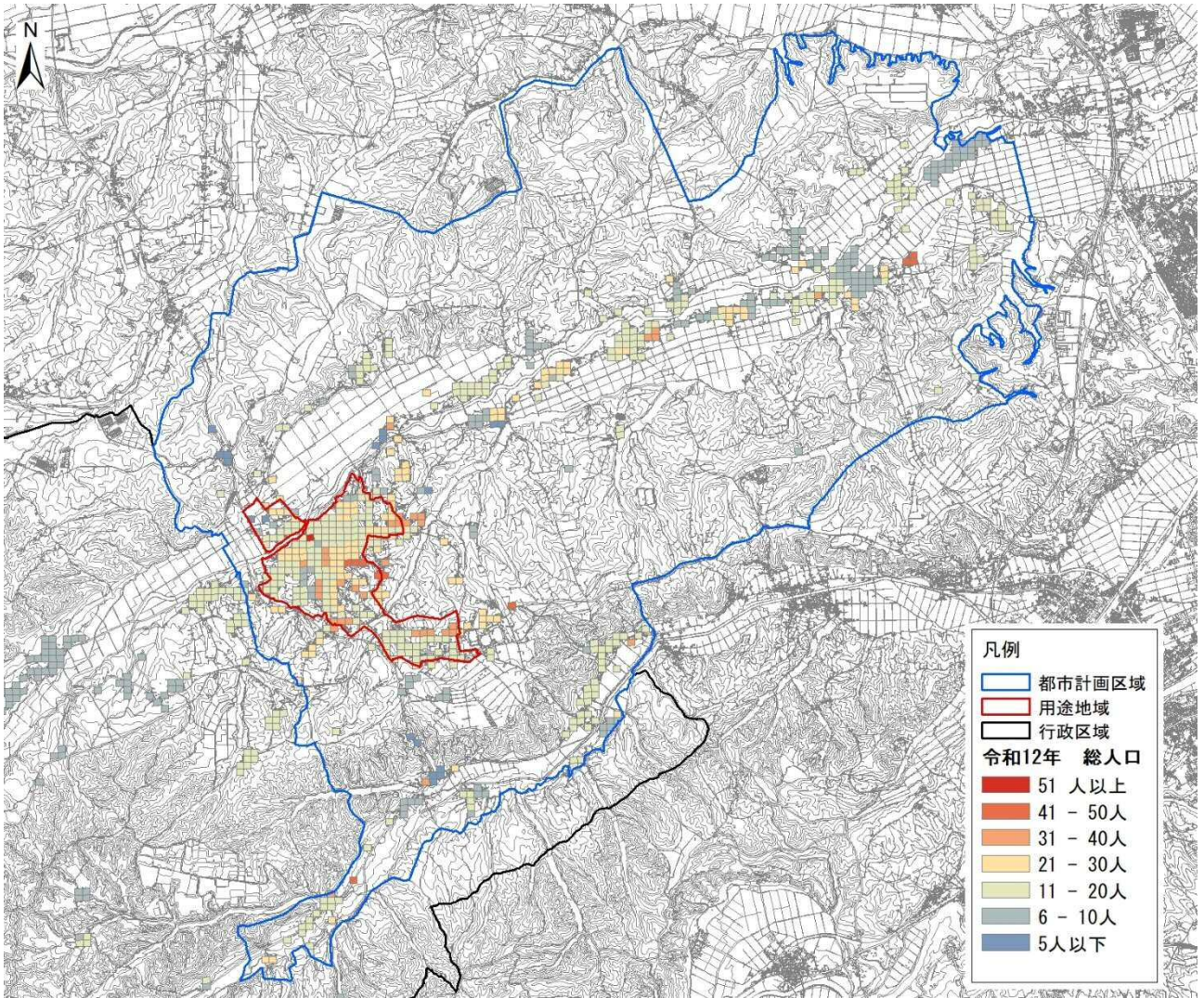


図 地区別将来人口（令和12年（2030年））

資料：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」より作成

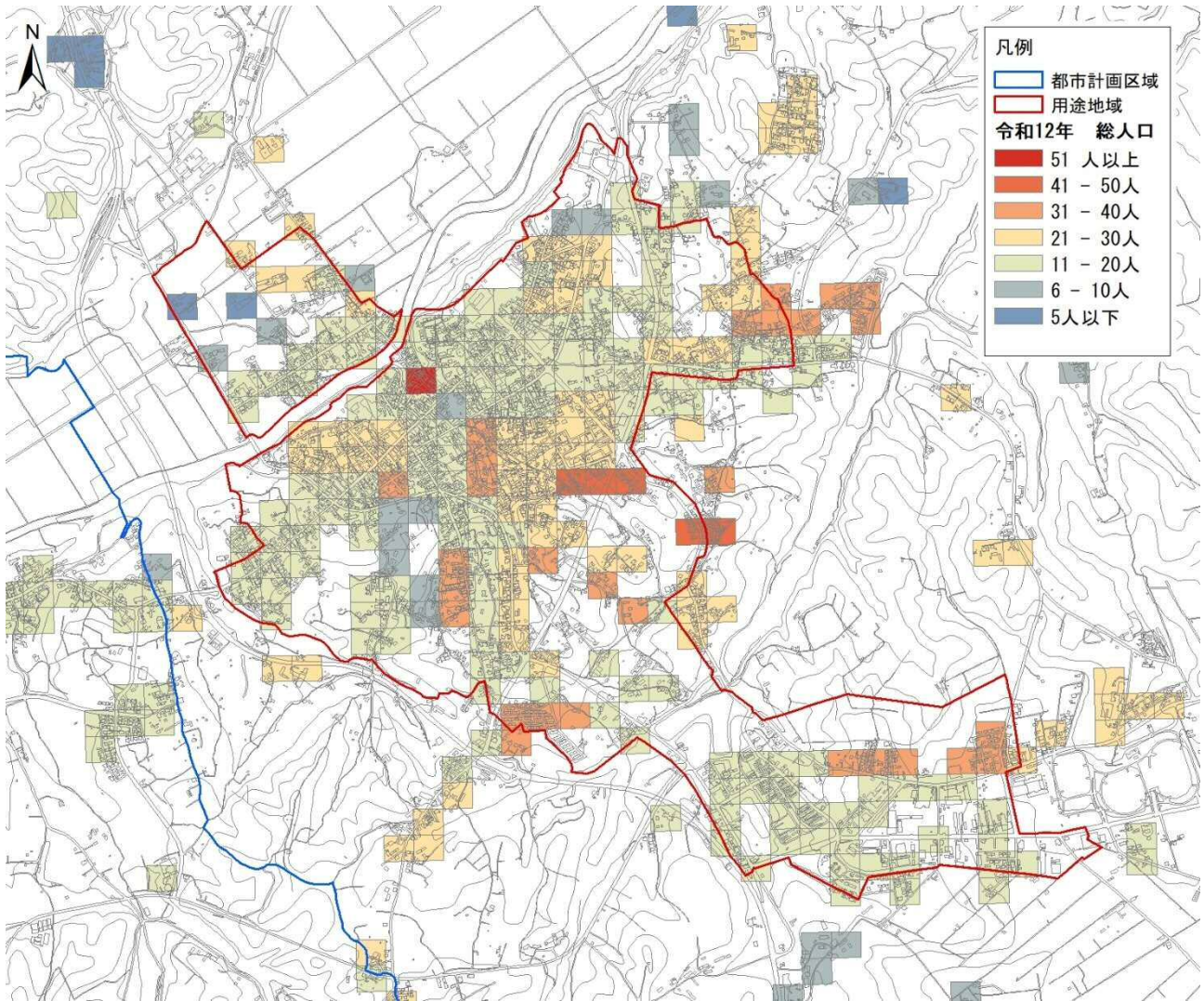


図 地区別将来人口（令和12年（2030年）、用途地域周辺）

資料：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」より作成

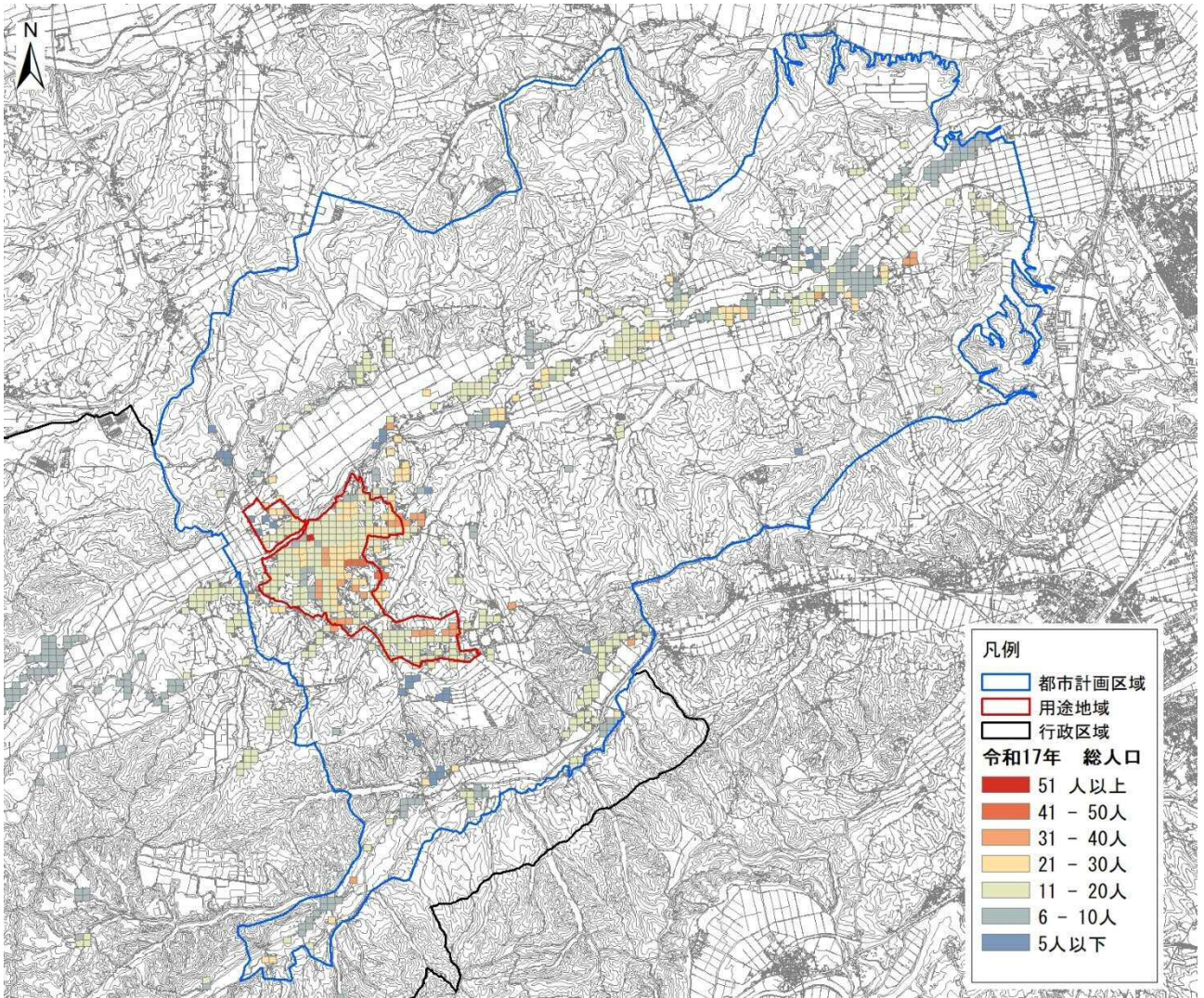


図 地区別将来人口（令和 17 年（2035 年））

資料：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」より作成

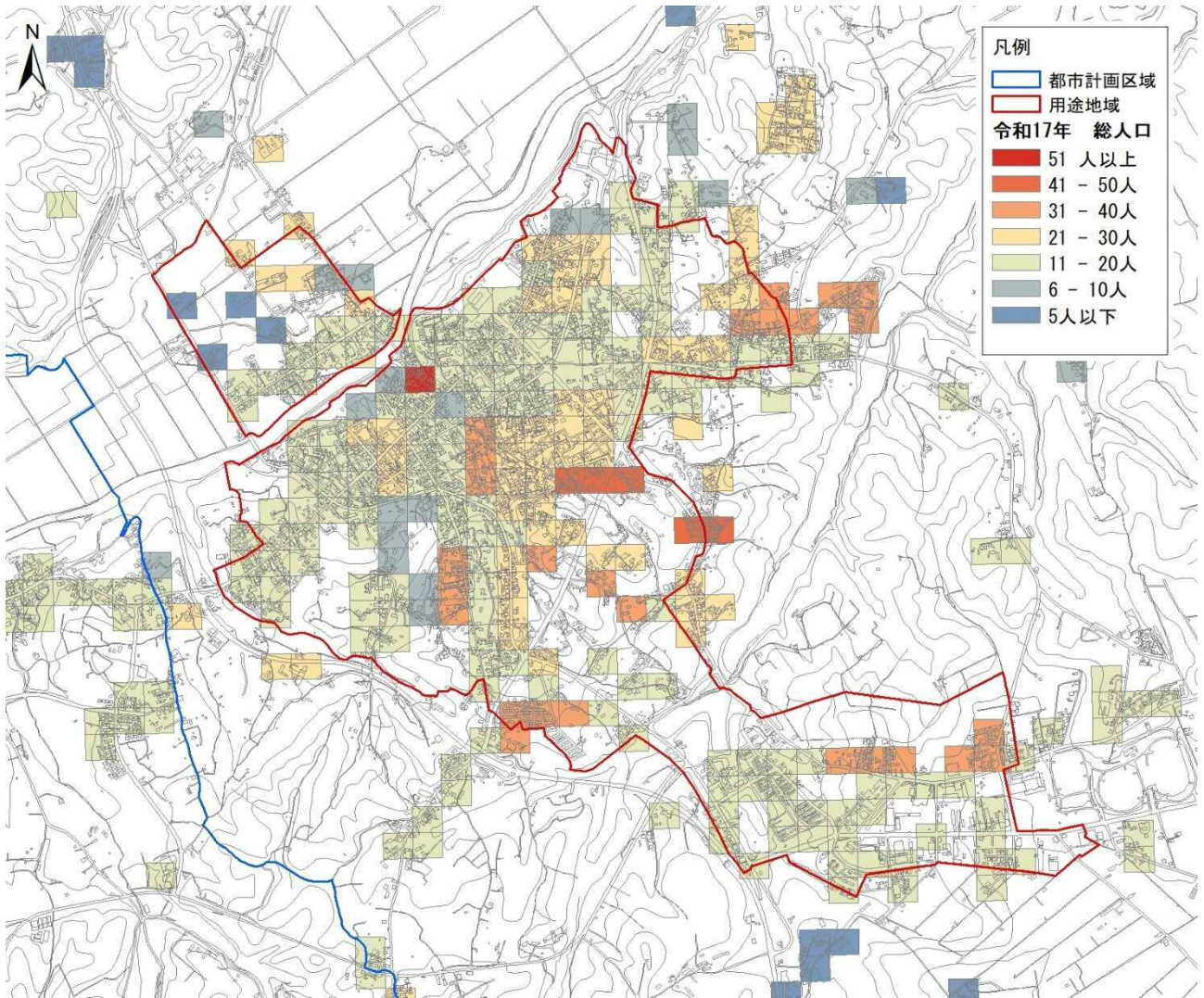


図 地区別将来人口（令和17年（2035年）、用途地域周辺）

資料：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」より作成

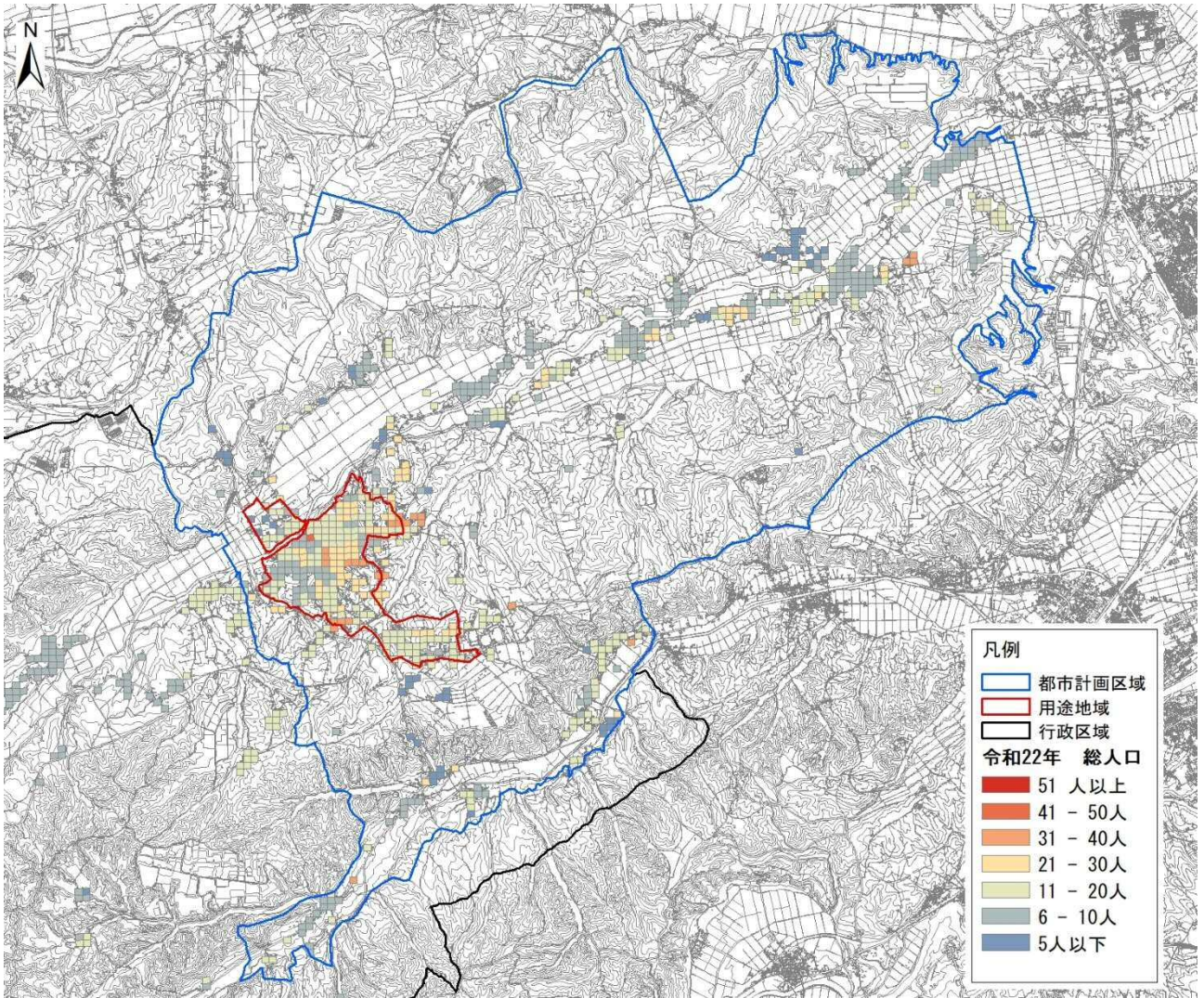


図 地区別将来人口（令和 22 年（2040 年））

資料：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」より作成

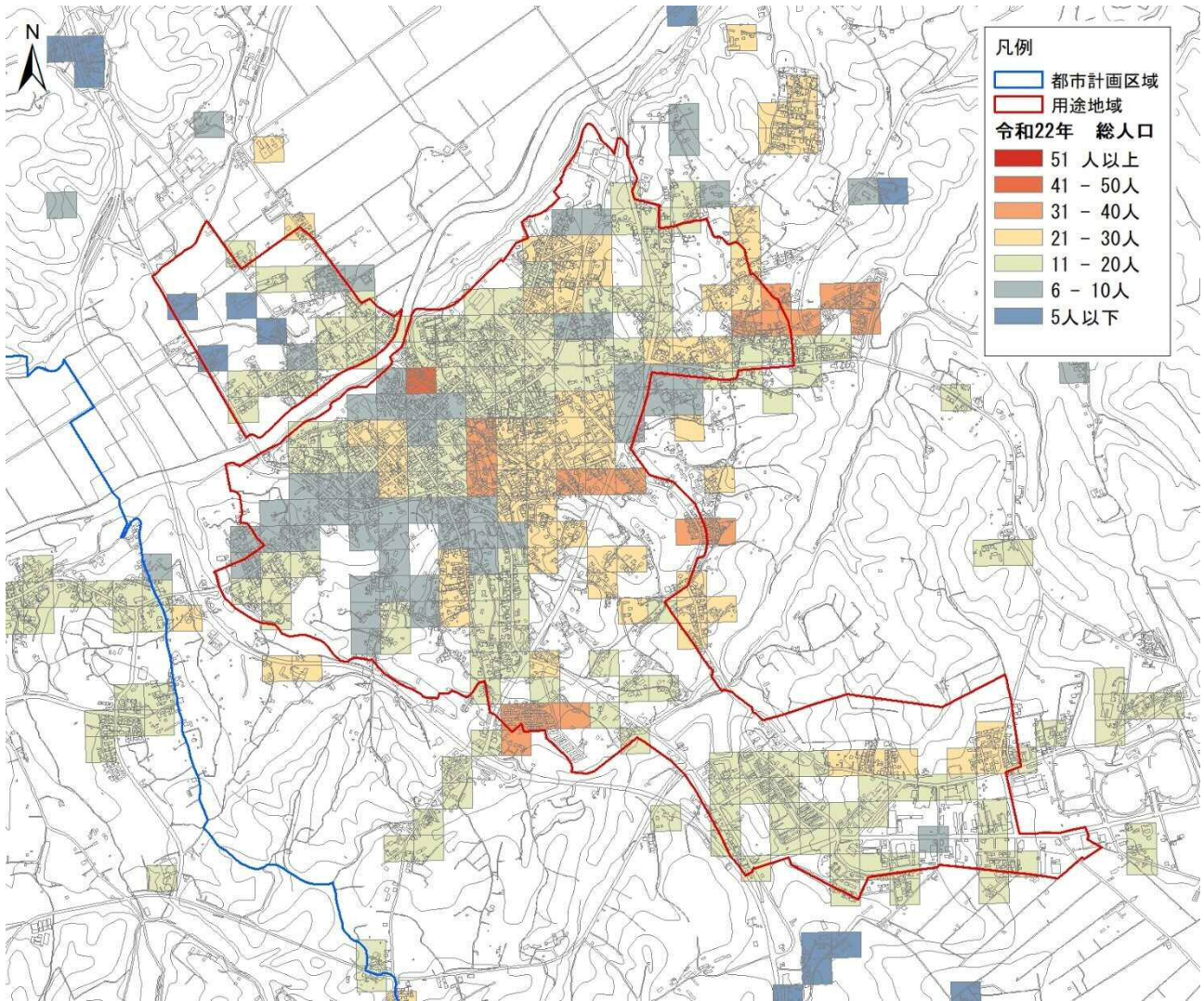


図 地区別将来人口（令和 22 年（2040 年）、用途地域周辺）

資料：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」より作成

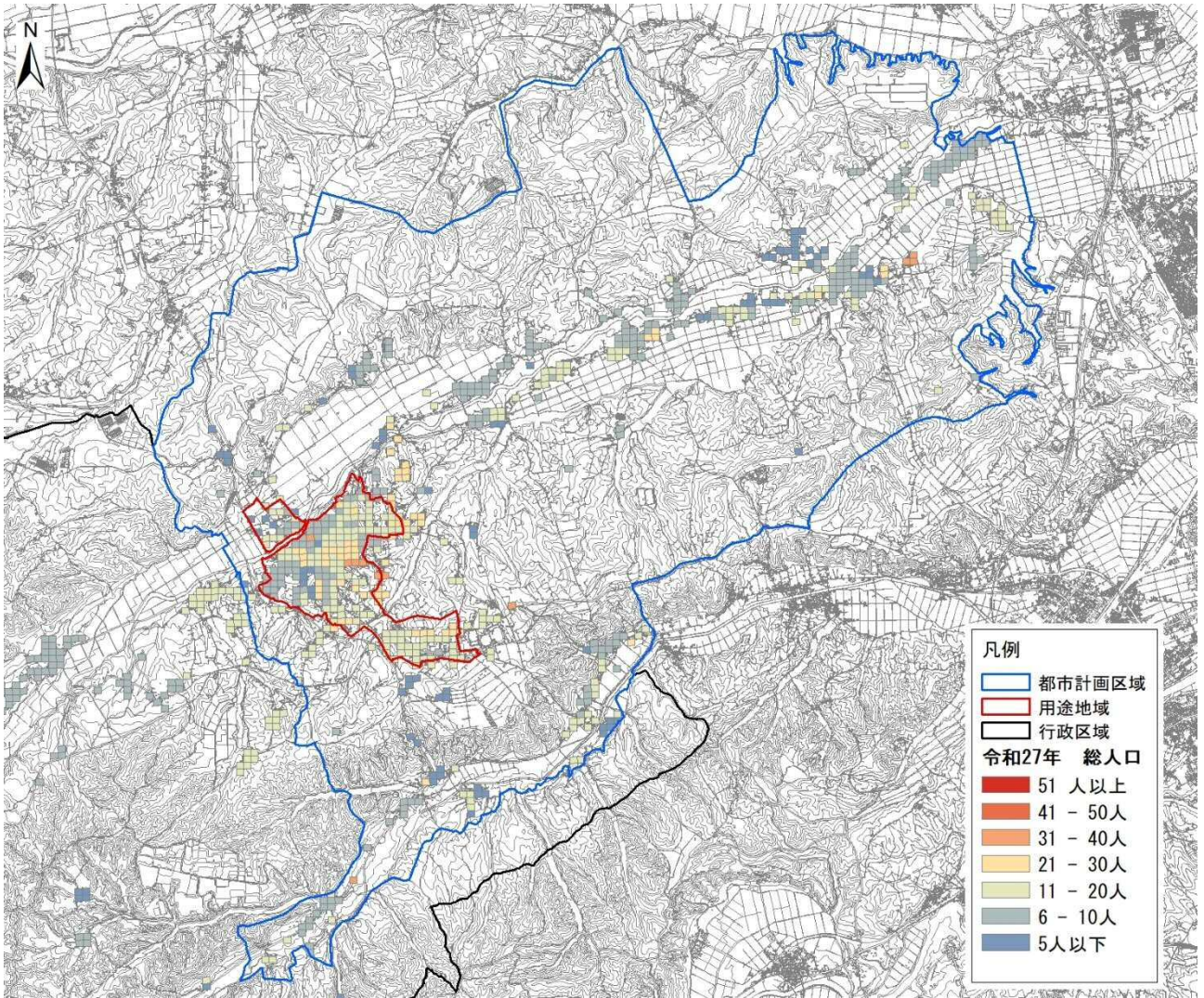


図 地区別将来人口（令和27年（2045年））

資料：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」より作成

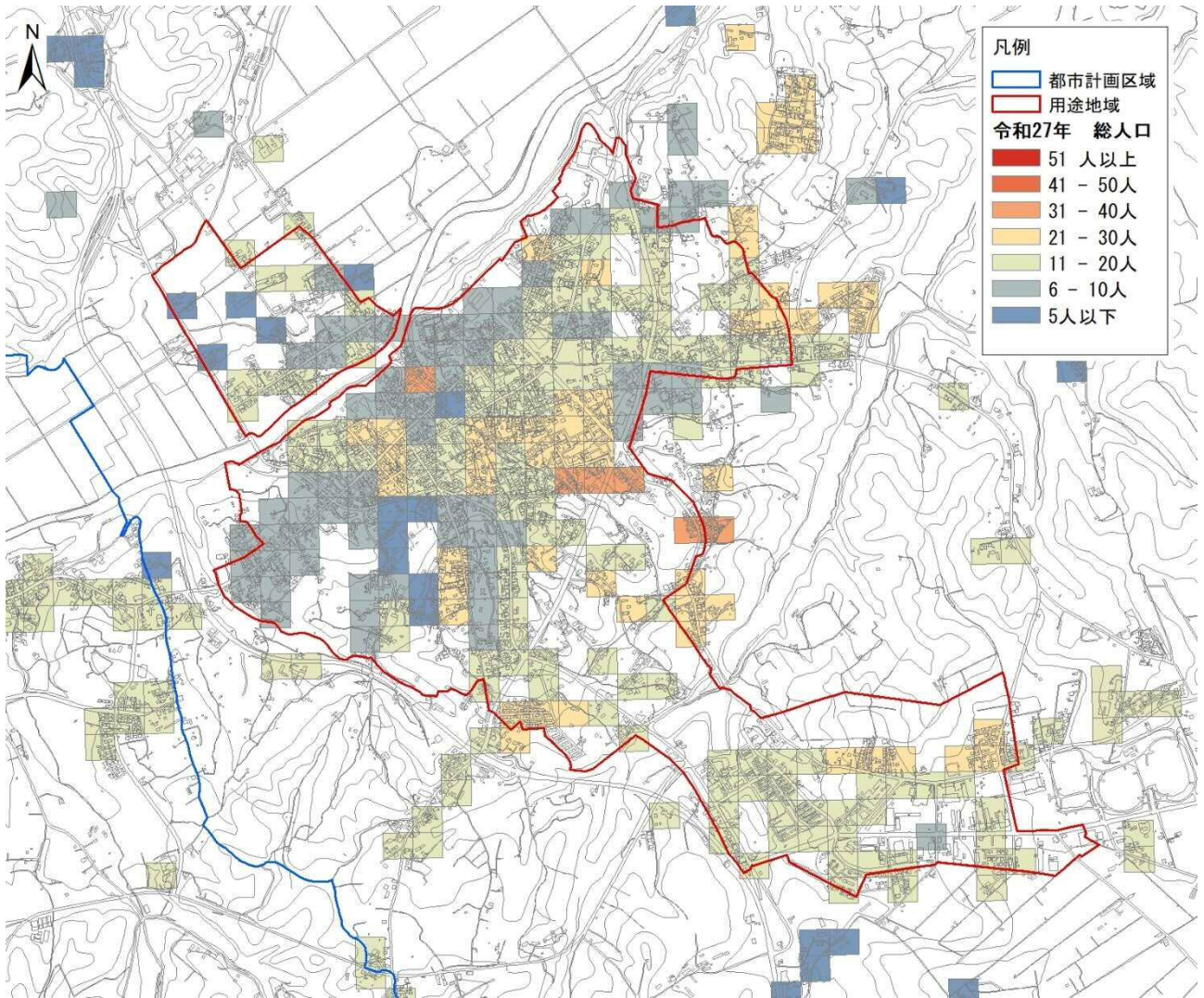


図 地区別将来人口（令和 27 年（2045 年）、用途地域周辺）

資料：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」より作成